

※ 網掛けのない部分が計画, 網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標(目指す児童像含む)

豊かな心や健やかな体をもち、自ら考え、取り組み、判断し、新しい時代を創造的に生きる児童を育成する。

- (1) かしくく ― よく考え がんばりぬく子ども ― 「学ぶ意欲と思考」の育成
- (2) なかよく ― すなおで 思いやりのある子ども ― 「他人への思いやり」の育成
- (3) 元気よく ― じょうぶで 明るい子ども ― 「強い心と体」の育成

2 学校経営の理念(目指す学校像含む)

テーマ 「子どもを中心とした活力に満ちた明るく、楽しい学校づくり」

創立以来139年の輝かしい伝統と、優れた校風を受け継ぎ、未来に生きる子どもたちのための最も望ましい教育の方向を洞察し、田原小学校教育の開花を期する。

そのためには、教職員・児童が一体となって英知と熱意を結集し、充実した教育活動を展開しなければならない。

また、教職員一人一人が自己啓発・相互啓発に努め、明確な目標とゆきとどいた計画にもとづき、各学年・学級および各分掌間の緊密な連携のもとに、質の高い教育活動を推進することが大切である。

3 学校経営の方針(中期的視点) ※地域学校園内で共通する方針は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- (1) 確かな学力の定着 ・「わかる授業」をとおして、基礎的・基本的な学力を定着させる。
- (2) 豊かな人間性の育成 ・相手を思いやり、他者の立場に立って考え行動できる心を養う。
- (3) 基礎体力の定着 ・健康・安全に関心を持ち、積極的に体力づくりに取り組ませる。
- (4) 家庭・地域社会との連携 ・開かれた学校づくりに務め、地域に信頼される学校づくりを推進する。
- (5) 教職員の資質の向上 ・使命感に徹し、協働体制のもと各自が特性を発揮し資質の向上を図る。

4 今年度の重点目標(短期的視点) ※地域学校園内で共通する目標は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学 校 運 営】

- ・ 「魅力ある学校づくり地域協議会」と連携し、地域の教育力を活用した教育活動を推進し、児童が「行きたくなる学校」をめざす。

【学 習 指 導】

- ・ 思考力・判断力・表現力の基盤である漢字の読み・書き、基礎的な四則計算、音読・視写を中心に、反復学習の徹底により基礎学力の習熟を図る。

基礎学力の向上を目指して ～「基礎学習の時間」の効用～

【道徳教育(児童生徒指導)】

- ・ 進んであいさつをし、相手の気持ちを考えて行動できる児童を育成する。

【健康(保険安全・食育)・体力】

- ・ 実践的な基礎知識を学び、進んで健康の保持増進と体力の向上を目指す児童を育成する。
～楽しみや喜びを目指す体育活動の企画と実践～

5 自己評価(評価項目の A は市共通, B は学校独自を示す。)

※地域学校園内で共通する取組は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	<p>A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は今の学校が好きです」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 学校評価や学校行事の反省等を生かし、児童が生き生きと活動する教育活動を行い、活気のある学校づくりに努める。</p> <p>② 集会活動・体験活動などを工夫し、児童が生き生きと活動できるよう努める。</p> <p>・縦割り班活動の充実 ・外部講師等による体験活動の充実</p>	A	<p>【達成状況】 ・全体アンケートで、児童の肯定的回答は 87.8%と前年度より 5 ポイント低く、指標の「90%」を下回ったが、保護者 94.2%、地域住民 100%と高い肯定的回答を得ており、適切な教育活動の設定と実践が評価されたと考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・行事アンケート等から適宜内容を検討し、検証したことをすぐ次に生かせるようなマネジメントサイクルを有効に活用し、児童が生き生きと活動する教育活動を今後も推進していく。 ・児童の肯定的割合が下がったことから、児童の交友関係に目を向け、学級活動を適切に実施し、より良い人間関係づくりに努める。</p>
	<p>A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 全職員が学校経営に参画意識を持って、協力して教育に当たるように努める。</p> <p>② 児童一人一人をよく見取り、声をかけ、よく話を聞き、良いところは認め、指導すべき事はしっかり指導する。</p> <p>③ オープンスクール、授業参観や懇談会等の機会を通して、学校理解を深めるよう努力する。</p>	B	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は、97.2%と高く、目標を十分達成している。とくに保護者の肯定的回答が昨年度の 84.5%から、今回は 93.7%と 9.2 ポイントも上回った。具体的な取組みが理解された結果と考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・小中一貫教育が2年目となるので、それらを見通して、さらに連携協力して教育の充実に努める。 ・保護者や地域の方々とのコミュニケーションを積極的にとるようにし、保護者の声を取り入れる機会を設け、誠実な対応に努めるよう全職員で取り組んでいく。</p>
	<p>A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 学校でのきまりを徹底するために「田原小のやくそく」を提示し、教職員が共通理解の下、生活指導はもちろん、学習指導や日課等でも、きまりを守ることの大切さを繰り返し指導する。</p>	B	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 78.9%と指標を下回ったが、昨年度と比較して約 4 ポイント上回った。特に教職員の肯定的回答率は 70.3%と、昨年度より約 15 ポイント上昇した。このことから、昨年度よりも児童の規範意識は向上していると思われる。</p> <p>【次年度の方針】 ・地域学校園のきまりや約束を確認し、生活指導はもちろん、学習指導や生活指導など学校生活全般にわたり、全教員が同一歩調で指導をしていく。 ・規則正しい生活習慣を身につけさせるため、日課を守って生活ができるよう継続指導する。</p>
	<p>A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 各教科で標準授業時数(文科省)を確保するとともに、「基礎学習の時間」において、漢字・計算・音読などを発達段階に応じて取り入れ、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図れるよう努める。</p> <p>② 一人一授業公開を目標に、「わかる・できる・楽しい」授業の工夫に努める。</p>	B	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は、93.3%で目標は十分達成した。教職員、保護者、地域住民の肯定的な意見も 100%、86.6%、95%と高く、昨年度よりも大きく上回った。授業参観やオープンスクールできめ細やかで分かりやすい授業をアピールできた成果ではないかと考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・放課後の教材研究の時間を確保する。 ・授業参観やオープンスクール等ではきめ細かで分かりやすい授業をアピールする。 ・次年度も一人一授業公開をし、「わかる・できる・楽しい」授業の工夫をさらに試みる。</p>

<p>A5 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「私の学校生活や様々な活動は充実している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 小中一貫教育の趣旨を踏まえ、<u>夏季休業中の授業実施や日課を工夫することで授業時数を確保する。</u></p> <p>② 児童の主体的な活動や体験的な活動を取り入れ、行事ごとに評価を実施し改善を図るようにする。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・学校生活での生活や様々な活動が充実していると感じている児童の肯定的な回答は、91.3%と高く、昨年度を上回り、十分目標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・時数増加による負担感がなくなるように教育課程を編成する。今年度の成果を受け、行事や日課などの反省をもとに、よりよい年間計画(行事)や日課となるように工夫し、児童がいきいきと充実した生活を送れるようにする。</p>
<p>A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 「オープンスクール」や授業参観等を学期に2日以上実施し、学校公開を保護者だけでなく、地域に向けても積極的に行う。</p> <p>② 学校だよりを毎月1回発行するとともに、ホームページを定期的に更新して、保護者や地域住民など多くの人に知らせる。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・全体アンケートの保護者の肯定的回答は、97.5%と昨年より2.7ポイント上回り、目標を十分達成しているといえる。</p> <p>【次年度の方針】 ・オープンスクールや授業公開の方法を工夫して行い、また、いつでも学校参観ができることを呼びかけ、学校の様子や授業における児童や教職員の姿を伝えていきたい。 ・学校だより、学年だより等の「たより」を定期的に提供してきたが、さらに活動の趣旨や教育的意義について、内容の精選を図り、保護者や地域住民に学校の様子を分かりやすく伝えていくようにする。地域学校園の情報についても積極的に発信していく。</p>
<p>A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し楽しい」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 「<u>魅力ある学校づくり地域協議会</u>」との連携を強化し、学校・保護者・地域住民が一体となって、教育活動の充実と活性化を図る。</p> <p>② 授業ボランティア（地域の外部講師・街の先生）と連携した授業を計画的に実施し、その成果についても広く情報発信するよう努める。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・全体アンケートの児童の肯定的回答は、88.9%であり、昨年度とほぼ同程度で、十分達成しているといえる。</p> <p>【次年度の方針】 ・各学年において授業ボランティアと連携した授業を計画的に行うことができた。地域協議会の認知度が上がるよう各種便りで伝えてきたが、さらに、保護者や地域住民への説明の機会を設けるなど努力していく。 ・学校内のニーズ(実施時期や内容)をよく検討して、ボランティア活用の精選・充実を図るとともに、児童とボランティア双方に実施後の満足感が得られるような工夫をしていく。</p>
<p>A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「学校は、清掃が行き届き、荷物や備品などが整理整頓され、学習しやすい環境である」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 毎月、施設・設備の安全点検を実施し、修繕・補修を迅速に行い、学習にふさわしい環境づくりに努める。</p> <p>② トイレと水道周りは、常にきれいに維持できるように、使用法の徹底を図るとともに、清掃活動において重点的に指導する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は、91.5%で昨年度の86.7%を上回り、指標の80%を大きく上回っており十分目標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・機動班やボランティアとの連携を図るとともに、清掃の仕方の指導に重点を置き、学習にふさわしい環境を整える。 ・年間の掲示計画に沿って潤いのある環境づくりに努める。とくに、言語活動を意識した掲示物を作成する。</p>
<p>B1 学校は、事故防止・安全対策に努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は事故防止や安全対策に積極的に取り組んでいる」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 月1回の全校下校、毎日の学年下校、交通安全教室、不審者対応避難訓練を実施する。</p> <p>② 家庭・地域との連絡体制（田原小安全対策連絡会による防犯パトロール・子ども110番の家）を継続し実施する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・全体アンケートで、保護者の肯定的回答は90.5%で指標の90%を0.5ポイント上回った。教職員・地域住民の評価は、100%を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・成果があったものについては、引き続き次年度も継続して実施していく。 ・地域学校園で連携をとりながら、教職員が各指導場所に立ち、登校指導にあたる。 ・登下校の様子や指導内容、危険箇所について学校便りや各種便りを通して発信し、保護者や地域に知らせることにより、情報を共有しながら協力して、児童の安全を守っていく。</p>

教育活動の状況	生 活	<p>A9 児童は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① <u>地域学校園で毎月第2週をあいさつ週間とし</u>、その実施方法を工夫し、地域とも協力して基本的生活習慣の育成を図る。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答割合は 85.9%で指標を上回った。一方、教職員・保護者・地域住民の回答は 40～68%と児童を大きく下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・児童会を中心としたあいさつ運動や、地域学校園で協力しながらのあいさつ運動を実施し、あいさつについての意識の高揚を図る。 ・学校内においても、道徳・学級活動等の時間を活用して時と場に応じたあいさつの大切さを理解させるとともに、その習慣化を図る。</p>
		<p>A10 児童は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 気持ちよい言葉づかいや返事について共通理解を図るとともに、日常的な指導を繰り返し実施し、保護者にも協力を呼びかける。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答割合は 75.7%で指標を下回った。教職員・保護者・地域住民の回答も 44～68%と低い値であった。</p> <p>【次年度の方針】 ・気持ちの良い言葉遣いについては、学習指導中に聞き方・話し方の指導を実施したり、学級活動に位置づけたりして、繰り返し指導する。 ・正しい言葉づかいを身につけさせるためには家庭との連携が不可欠なため、学校だより、学年だより、保護者会等を通して広く啓発していく。</p>
		<p>B2 児童は思いやりの気持ちをもって行動している。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「クラスのみんなは、あなたに声をかけてくれたり親切にしてくれたりする」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① いじめの早期発見・早期対応のため実態調査を年4回実施するとともに、おしゃべり週間や「Q-U」の結果を生かし、児童が安心して生活できるようにする。</p> <p>② いじめ・生命尊重についての心に響くような内容での道徳や学級活動の授業を1回以上は行う。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 88.5%と指標を上回った。保護者の肯定的回答割合は 84.9%となり、昨年度よりも約 14 ポイント向上した。</p> <p>【次年度の方針】 ・否定的回答をしている児童がいる実態を見逃すことなく、相手を思いやることの大切さや、他者とのより良い関わり方についての指導を継続していく。 ・児童の自尊感情を高め、人権教育を適切に実施することで、他者への思いやりの心を育てる。 ・個別の支援が必要な児童には、校内担当者やスクールカウンセラーと連携し、対応していく。</p>
	健康・体力	<p>A11 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「児童は休み時間や放課後などに進んで運動している」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 元気っ子健康体力チェックの結果などをもとに、定期的に重点運動を決めて、児童が目当てを持って運動に取り組めるようにする。</p> <p>② 体力や技能を向上させるための取り組みを、年間を通して実施する。 ・<u>縄跳び、水泳、鉄棒の検定カードを活用する。</u></p>	<p>A</p> <p>【達成状況】 ・本年度の児童の肯定的回答は、80.0%であり、指標 80%を達成したが、昨年度の数値を 4.9 ポイントほど下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・児童会活動(運動委員会の活動・なかよし班遊びやクラス遊び)を通し、外遊びをする児童を増やしていく。 ・教職員と児童が共に遊ぶ日を設定し、楽しい経験をさせることで、外遊びを推奨していく。また、いろいろなボールや遊具を活用した遊びを推奨し、様々な動きをとおして調整力を高めるようにする。</p>
		<p>A12 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「児童(生徒)は、好き嫌いなく給食を食べている」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 栄養職員と連携した食育に関する授業を計画的に取り入れる。</p> <p>② 給食だよりを毎月1回発行し、栄養面を含め食育や健康に対する家庭の意識の高揚を図る。</p> <p>③ 家庭との連携を図り、食育の啓発に努めるとともに、<u>「お弁当の日」の計画、実施を進める。</u></p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は、75.3%であり、指標を下回る結果となった。直接に給食指導に当たっている教職員の評価も、73.0%と低い値だった。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、学校栄養職員と連携した「食に関する授業」を計画的に実施できるよう、年度当初に年間の計画を立てる。 ・懇談会、給食だよりや各種たよりを通して、情報を発信していく。 ・給食時に、担任とともに栄養職員も各学級の給食指導に参加する。</p>

	<p>B3 児童は、自分の健康のために、手洗い・うがい・歯磨きを進んでいる。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「自分は、健康のために、手洗い・うがい・歯磨きを進んでいる」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 保健だよりを発行し、健康な生活習慣を身につけるための情報発信をする。</p> <p>② たわらの時間や昼休みなどの外遊びの後、給食後の場面で、手洗い・うがい・歯磨きの励行を呼びかける。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答は、88.6%であり、指標を 8.6ポイントほど上回った。直接指導に当たっている教職員の評価も 85.1%と高い評価になった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食後の歯磨きの時間に養護教諭が各教室を巡回して歯磨き指導を行い、丁寧な歯磨きを実践させる。 ・保健指導や委員会活動を通して、正しいうがい・手洗いの仕方と丁寧な歯磨きの大切さを周知していく。
学	<p>A13 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「児童は授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 授業の準備を忘れず、休み時間のうちに用意する。</p> <p>② 1 時間に一回発表を目標に授業に取り組ませる。</p> <p>③ 話し合い活動を積極的に取り入れる。</p> <p>④ 板書したことをきちんとノートに書き写したり、工夫してノートにまとめたりすることができる。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的な回答は 86.7%で、昨年度の 80.2%を上回った。地域住民や保護者の肯定的な回答も 80%、82.5%と昨年度を大きく上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合い活動ができるように席決めを意図的に行ったり会話科の授業を充実させたりして、話し合い活動を積極的に取り入れていく。 ・教師の指示や説明を必要最小限かつ的確に行い、授業中に児童が発表する機会を増やすよう心がける。
習	<p>A14 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「児童は授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① チャイム着席を守らせる。</p> <p>② 授業中の姿勢や話を聞くときの態度について指導する。(合言葉で意識づけを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「足はぺったん・背中ピン・おなかと背中にグーひとつ」 ・「話をします」「目を見ます」) 	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的な回答が 83.2%で、昨年度の 80.2%を上回り、指標も上回った。保護者や地域住民の肯定的な回答も 78.6%、76.1%と前年度を大きく上回ったが、まだ低い。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のきまり」については、地域の学校と協力してさらに指導を強化する。 ・「話を聞くとき」と「板書したことをノートに写すとき」を発達の段階に応じて、指導していく。 ・「発表のしかた」、「声のものさし」、授業中の姿勢や鉛筆の持ち方等の指導を徹底して行う。(教師も意識して言葉がけするようにする。) ・「姿勢の日」を有効に活用し、自分の姿勢について振り返りをさせる。 ・机と椅子の高さをこまめに調節するようにする。(機動班に依頼する。)
	<p>B4 本を読むことの楽しさや大切さがわかる。</p> <p>【数値指標】児童一人当たりの 1 ヶ月の読書量 ⇒20 冊以上</p>	<p>① 心穏やかに読む、静かな朝の読書(朝の活動)を毎日実施する。</p> <p>② ボランティアによる「読み聞かせ会」を学年・クラスごとに行うよう年間を通して計画し実施する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1ヶ月の読書量は平均 28 冊で、昨年度を上回り指標を達成しているが、たくさん読む児童とそうでない児童の差がある。高学年になると、ページ数の多い本を読む児童が増える傾向にあり、冊数にこだわらない指導も必要と考える。読み通したことに自信を持つよう励ましたい。 ・朝の読書も静かに実施できるようになってきた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの方や教員による読み聞かせが効果的なので、継続して実施していく。 ・「いつでも読書」を合言葉に、いつでもどこでも読書ができるよう指導を継続する。 ・朝の読書がすぐにできるように、前日の帰りに読む本を準備するように徹底させる。 ・図書室で借りた本を入れるバッグを持たせるよう、保護者に協力を呼びかける。 ・年に2回の読書週間の企画だけでなく、イベント的な取り組みを増やし、図書室に親しませるようにする。

本校の特色・課題等	<p>B5 地域の特色を生かした学習の充実を図ることにより、地域を愛する心を育てている。</p> <p>【数値指標】 ⇒各学年で、地域人材を活用し、体験活動を重視した取り組みを積極的に実施した。</p>	<p>① 保護者・地域社会との連携を図り、体験活動を重視した地域の特色を生かした学習などを実施し郷土愛の育成を図る。</p>	<p>【達成状況】 ・各学年において、地域の特色を生かし、地域人材を活用した取り組みを実施した。また、保護者の協力も数多く得ることができた。学校支援ボランティアで授業支援をしてくださった方は、のべ450名ほどになる。 ・地域協議会の方が授業のサポートや室内の環境を整えるボランティアをしてくださり、たいへん効果があった。</p> <p>【次年度の方針】 ・成果があったものについては次年度も継続して実施していく。 ・活動が同じ時期に集中しないよう、年間の見通しを立てて実施する。</p>
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

〔総合的な評価〕

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学校運営部会】

- ・「かしこく、なかよく、元気よく」を具体目標とし、「子どもを中心とした活力に満ちた明るく、楽しい学校づくり」を学校経営の理念に掲げて、この1年間取り組んできた。「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である」という項目では、保護者・地域住民・教職員の三者平均は95.6%と高い肯定的回答を得ているが、児童の回答は87.8%と目標値の90%を下回っている。本校では、学級経営を行う上で有効な資料が得られる「Q-U」(宇都宮市全体で実施)を全学年で年に2回実施して教職員の意識を高めてきた。今回の結果を踏まえて、学級活動や縦割り班活動等をより充実させ、児童間の人間関係がより一層深まるようにしたい。
- ・本校では、「開かれた学校」・「地域の学校」という観点から、オープンスクールや授業参観・学校行事の公開等、様々な情報発信・提供を積極的に行ってきたが、その結果、保護者・地域住民からの肯定的回答平均が約96.8%という高い評価を得ることができた。
- ・教職員の基礎学力向上の取り組み、指導の工夫・改善、わかりやすい授業や個別の指導に対する取り組みや努力については、保護者の理解が深まってきている。学校便り・学年便り等の各種便りやホームページ等でそれらに関するコーナーを設け、さらに積極的に発信してきた結果と思われる。今後も、基礎・基本の学習の習熟・定着を図り、児童の変容・向上を図ることで、保護者の理解が深まるよう努力を継続したい。
- ・5年目を迎えた「魅力ある学校づくり地域協議会」の活動内容が充実しており、保護者や地域住民にもこの協議会の認知度が高まってきている。期待も含めその果たす役割の重要性に保護者の意識が高まった結果と言える。今年度は、「宮っこステーション」が立ち上がって2年目を迎え、「放課後子ども教室」の運営も軌道に乗り充実した活動が展開されている。活動内容や協力の要請等については、運営スタッフの確保と合わせて、各種便り等でさらに周知していくことが大切と感じる。また、小中一貫教育に関連して、地域学校園協議会の運営について、田原中・田原西小学校と連携を図り、年間を見通して取り組みを進めていく必要性を強く感じている。
- ・全体アンケートの肯定的回答比較表を見ると、昨年まで多かった『判断できない』との回答が減ってきている。情報発信の成果もあるが、保護者の方の学校に対する関心の高まりも一因と考えられる。今後、学校が情報発信や説明責任の部分での積極的な取り組みの努力を続ける一方、保護者や地域の方々に理解と協力をお願いしていく。

【児童指導部会】

- ・きまりやマナーについては、週目標や担任からの呼びかけで、廊下の歩行・あいさつ・食事など、その時その時にあった課題を指導してきた。一定の成果があったものもあるが、その時期を過ぎるとまた悪くなるものもあった。今後も継続して指導していく。
- あいさつについては、児童はおおむねできていると回答しているが、大人から見るとまだまだという評価である。田原地域学校園の児童指導の目標にもなっており、児童や保護者への呼びかけを根気よく続け、児童自ら元気な声であいさつが自発的にできるよう学校園で協力して呼びかけていきたい。
- ・言葉遣いや返事については、児童の間では、意識をせずに使っている言葉でも、人権上問題になるような言葉を使っていることもあり、その都度指導してきた。名前を呼ばれたら返事、友達の名前は「さん」をつけて呼ばせることをさらに徹底させていく。
- ・児童指導に関する項目の肯定的回答は全体的に低い。教職員も保護者も地域も、より良い児童を強く求めていることが感じられる。今後も保護者や地域の方の協力を得ながら、児童の良いところを伸ばし、改善して欲しいところは指導していく。

【健康指導部会】

- ・「学校は、事故防止や安全対策に積極的に取り組んでいる」では、児童、教職員、保護者、地域住民ともにかかなり高い評価を得ている。朝会で実際に通学してくる様子や危険な場所について具体的に話したり、学校便りを通して情報を発信したりしたことで情報を共有できたことが高い評価に繋がったと思われる。

- 昨年度から、水泳検定、なわとび検定を実施し、体育科の授業・休み時間・放課後の活動等で継続的に取り組めるよう計画を立ててきた。具体的な目標が定まったことで、児童が進んで運動に取り組んだり、目あてを持って運動に取り組んだりする機会が増えた。
- ・次年度は、体力面についての推移を確認できる欄を健康カードに追加して、児童・保護者が体力向上に関心を持てるようにする。
 - ・児童が外遊びのできる時間は限られているが、毎日外に出て遊ぶようにするには、教職員の児童に対する声かけが重要になってくる。今後、教職員が一体となって、児童が外に出て遊べるよう働きかけていくようにしたい。
 - ・来年度は、鉄棒検定や持久走の練習の強化を計画し、児童の体力増強を図りたい
 - ・児童会集会で、仲間との外遊びの時間が計画されたことによって、進んで遊べない児童にも外遊びの機会が得られた。
 - ・「給食を好き嫌いなく食べている」では、教師の肯定的回答が児童よりも低く、給食での残食の様子などからの評価と考えられる。保護者の評価も児童の評価より 7.6 ポイントも低いことから、今後も家庭との連携で推進していく必要がある。

【学習指導部会】

- ・今年度も「基礎学習の時間」を活用して基礎学力の向上を目指してきた。また、一人一研究授業を合言葉に互いの授業を参観し合い、授業力の向上も目指してきたので、「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」の児童の肯定的回答が 93.3%と指標を大きく上回った。授業参観やオープンスクールでも普段の授業同様、きめ細やかで分かりやすい授業を行うように努めてきたことで、保護者や地域住民の肯定的回答が大きく上回った。
- ・「児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる」の児童の肯定的回答は指標を上回っているが、まだまだ十分達成できてはいない。「学習のきまり」や「発表のしかた」、「声のものさし」などのきまりを共通理解し指導に努めてきたが、児童に十分周知し徹底できたとは言えないため、教師が意識して声掛け指導を行わなければならないと感じている。
- ・朝の読書が静かに実施できるようになってきており、読書好きの児童が多くなってきているが、たくさん読む児童とそうでない児童の差が生じている。高学年になるにつれて、ページ数の多い本を読む児童が増えてきたので、冊数だけにこだわらず児童に自信を持たせるようにしたい。
- ・各学年において、地域の特色を生かし、地域人材を活用した取り組みを実施した。また、保護者の協力も数多く得ることができた。「学校生活での生活や様々な活動が充実している」と感じている児童の回答が 91.3%と高く、昨年度を上回り、十分目標を達成することができた。今後は、成果があったものは次年度も継続し、年間の見通しを立てて実施していくようにしたい。

6 学校関係者評価

◇ 学校教育全般(学校運営面)

- ・学校教育の理念達成に向かって努力している雰囲気を感じる。教職員が自信を持って授業に臨んでいる傾向があるが、時数増加・小中一貫教育・地域協議会との連携など課題もあり、工夫した取り組みをより一層充実させる必要がある。
- ・放課後子ども教室の迎えや「ちょこボラ（ボランティア活動）」で校内に出入りする地域の人が増えた。教職員の頑張りがポイントアップにつながっている。次は、保護者力を上げる番であり、PTA学年委員の活躍を期待している。
- ・宮つ子ステーションや読み聞かせ等で学校に行く機会が増え、明るく活気のある雰囲気が伝わってくる。「魅力ある学校づくり地域協議会」を知らない保護者が多いので、啓発の努力を続けたい。
- ・先生方は、よく考えて、学校を運営していると思う。昔に比べると煩雑な仕事が増えていると思うが、これからも、よろしく願いたい。
- ・児童一人ひとりを大切にいただきありがたく思う。下校時の、バスの時刻に配慮した日課を設定していただき感謝している。

◇ 児童の様子全般（生活の様子、あいさつや言葉遣い等）について

- ・あいさつについて、児童の肯定的な評価は80%を超えるが、大人の評価が低くなっている。児童は良いと思っているのに対し、大人はまだ不十分と考えており、そこにギャップがあるので、どこが良くてどこが悪いのかを教える必要がある。あいさつの手本となるものを録音・録画したもので実感させたり、中学生のより良いあいさつの見本をみせたりするなど、具体的な方策が必要と感じている。
- ・個人差はあるが、あいさつや言葉遣いが年々良くなってきている。先生方も指導には苦労されていると思うが、継続した指導をお願いしたい。
- ・学校に来る機会が増えたが、低学年ほどあいさつができないと感じている。言葉遣いも小さい子の方が好ましくない言葉を発している。まずは、保護者の家庭での指導や躾が大切だと思う。時と場に応じたあいさつの大切さを身につけさせるため、子供たちのお手本になるような保護者になって欲しいと思っているが、具体的な方法が思い浮かばない。
- ・全体的に見て、あいさつの出来ていない児童が多いと思う。言葉遣いも決まりを守ることの大切さも、家庭での指導が大切だと考えている。

◇児童の安全・健康・体力面について

- ・登下校の安全面では、ボランティアさんのおかげで安全な登下校が来ている。時々、付き添いの保護者同士で話に夢中になり並列で歩行するなどして、中学生（自転車）の妨げになっている場合があり、残念に思う。
- ・安全対策のための組織を見直して、地域住民の協力体制を強化する必要があると考えている。
- ・「こども１１０番の家」の見直しをすぐに行う必要がある。ここ何年か見直しが行われず、空き家になっていたり樹木で看板が見にくくなっていたりする。子供たちが見てすぐに分かる「１１０番の家」にして欲しい。
- ・教職員が外遊びを進んで行っているのを目にするが、少数の限られた先生なのが残念、授業の準備等で忙しいとは思いますが努力して欲しいと思う。
- ・体力面の低下をとてども気にしている。原因として、外遊びが減ったことや天気が悪いとすぐに送迎してしまうことなどが挙げられる。歩くことで、忍耐力や安全に対する感覚が養われるのではないかな。
- ・最近、外で遊んでいる子をほとんど見かけなくなった。安全の問題もあり難しいのか、せめて、学校の休み時間、外での群れ遊び等をしてほしい。体力の向上や心の発達には欠かせない群れ遊び、子ども達自らが考え自然に遊べるのが望ましいと考えている。
- ・体力向上を目標として、検定カードを活用しているが、児童の目標づくりに良いと思う。カードを持って休み時間等に努力する姿をよく見かけた。
- ・給食の好き嫌いが見られる。お弁当の日と同様に給食でも「なかよし班」などの縦割り班を利用し、上級生と下級生が意識し合いながら食する機会を設けるなど、改善に有効なのではないかな。

◇学習面に関すること

- ・学校教育全般がよくなっていることに伴い、学習態度が向上している様子が、保護者の自由記述の中からもうかがえる。
- ・チャイム着席ができるようになり、導入からスムーズにスタートできている様子がうかがえる。
- ・読書量が、ほぼ一日一冊というのは素晴らしい。また、児童の意見の中で、「本が増えてほしい」「小説を多くしてほしい」「授業時間を増やしてほしい」など、学習意欲のある児童がおり、うれしく思う。
- ・基礎学習の時間を強化し、繰り返して学習習慣を奮起させて、基礎・基本の学習が行われている様子が頼もしい。その効果として、他の教科の学習に生かされることを望んでいる。1年生のうちから積極的に挙手をして授業に臨む習慣を身につけさせてほしい。
- ・学習指導の中で、児童への言葉かけについて配慮をしていただきたい。言葉一つで意欲喚起につながったり、その単元が嫌いになったり苦手になったりしてしまうこともある。本音の指導も必要だが、児童の心が傷つくこともあることを念頭に指導に当たっていただきたい。

◇総合的な評価に関すること

- ・総合的な評価に関しては、おおむね妥当だと思う。教職員と保護者と児童の間でのギャップが出ているが、認識の仕方の違いがあり、それぞれの立場を理解して対処する必要がある。「いじめの問題」については、樂觀せず厳しい目で見つめてほしい。
- ・先生が校庭で児童を叱る場面に遭遇したことがあるが、叱られる理由をきちんと説明し大きい声で叱っており、頼もしく感じた。その児童の立場に立って、適切に叱れる先生（児童が先生を信頼している）を管理職は多教育成してほしい。先生から叱られた記憶は、一生の「宝物」となるか「悪夢」となるかは、相互の信頼の深さで決まる。
- ・自由記述について、一方的な意見が以前よりも減ってきているのは、信頼関係ができてきているからだと思う。学校評価がネット上に公開されており、自由記述の意見が一方通行とならないよう、学校便り等で、毎回“少しずつの回答”があっても良いと思う。
- ・体力の増強については、田原地域学校園の中で、小中で共通した計画や検定が出来てくるようなので、来年度からの成果を期待している。

7 まとめと次年度へ向けて(学校関係者評価を受けて)

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

◇ 学校教育全般(学校運営面)

- ・地域協議会委員の方々からは、総合的な評価に関しておおむね良いとの評価をいただいた。いくつかの点については率直な意見をいただいたので、アンケート結果と自由記述とそれぞれの意見を考慮して、次年度の学校運営、教育活動の改善に生かしていきたい。
- ・アンケート結果で、教職員・児童・保護者・地域住民のギャップが大きい項目について、学校だよりやホームページをはじめ、各種便りの発行、授業参観後の懇談会等において説明し理解を深めるよう努める。
- ・「田原小学校魅力ある学校づくり地域協議会」と協力しながら、地域の教育力を活用した教育活動を推進するとともに、地域

の方々に学校の様々な情報を発信したり学校と関わっていただけるような機会を設けたりするなどして、今後とも「開かれた学校づくり」をめざす。

◇ 児童の様子全般(生活の様子、あいさつや言葉づかい等)

- ・保護者、教職員及び児童自身による肯定的回答が低い質問項目「児童のきちんとした言葉づかいや返事」「児童のあいさつ」等については、地域学校園で共通の課題として取り組んでいきたい。また、学校・家庭・地域・企業がさらに協力連携し、それぞれの立場で取り組んでいけるよう努力する。
- ・言葉遣いやあいさつなど家庭の教育に係わる部分については、魅力ある学校づくり地域協議会や PTA との連携を深めて「親学」に関する講演会等を開き、共通理解を図って推進していくようにする。

◇ 児童の安全・健康・体力面

○体力向上については、地域学校園の取り組みと合わせ、めあてをもって体力づくりをする場の設定を推進していく。(持久走大会の実施、各種検定の実施、外遊びの奨励、教科体育の充実・運動量の確保等)

- ・「食育」に関する指導は、学校と保護者の連携が必要不可欠の部分であり、学校においては、地域学校園での共通した取り組みを充実させ、保護者に対しては、地域協議会と PTA 共催による『親学講座』等を開催するなど、引き続き充実させていく。
- ・「こども 110 番の家」の見直しについては、安全対策連絡会・PTA 等との連携を図り、早急に取り組んでいく。

◇ 学習面に関すること

- ・「児童は、授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している。」の児童の肯定的回答率が、本年度は 86.7%と目標を上回ることができた。今年度の取り組みを反省し、教職員がさらに課題を自覚し、積極性が高まるような指導を工夫していく。また、学校の取り組みや児童の様子が分かるよう、授業参観・オープンスクール等の機会を活用し認識が深まるよう努めたい。
 - ・漢字や計算力など基礎的・基本的な内容の定着を図るために、基礎学習の時間について、指導方法や内容について研究を深め努力を続けてきた。日課を見直した結果、「基礎学習の時間」を週に 3 回確保し、今後とも継続して取り組んでいく。
- 地域学校園においては、「学習の約束」・「学習の手引き」・「家庭学習のすすめ」の作成・配布を行ってきたが、次年度も引き続き実施し、より良い学習態度の育成や学習習慣の確立を図りたい。
- ・読書指導については、図書館司書を中心に、読書内容にも目を向け、読書・図書館ボランティアさん等との連携をいっそう深め、さらに、今年度以上の読書活動の充実を図っていくようにする。